

経営比較分析表（令和5年度決算）

高知県 あき総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	透 訓	救 臨 へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
675,623	20,771	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

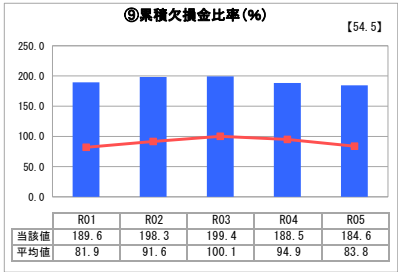
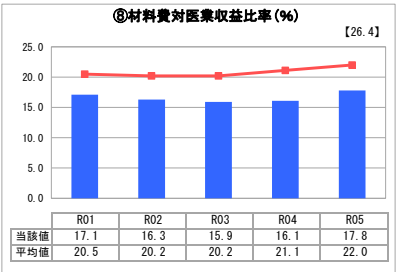
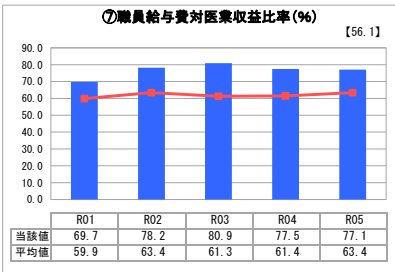
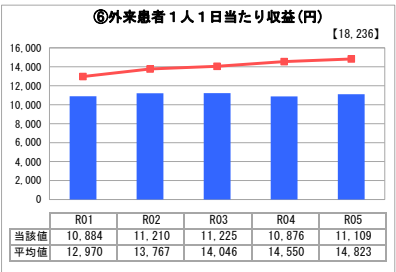
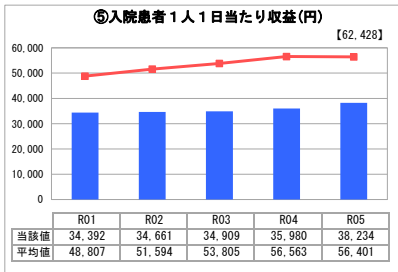
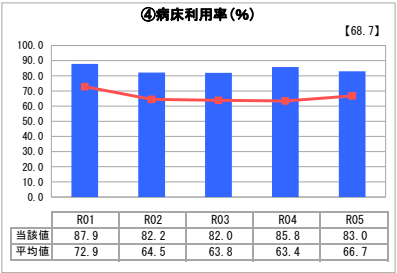
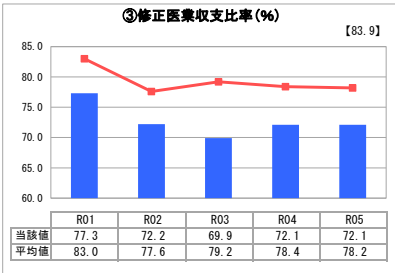
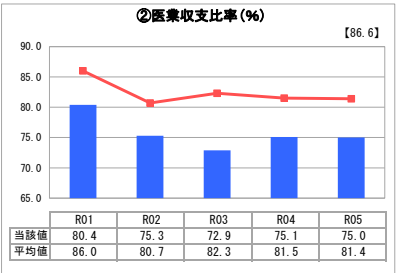
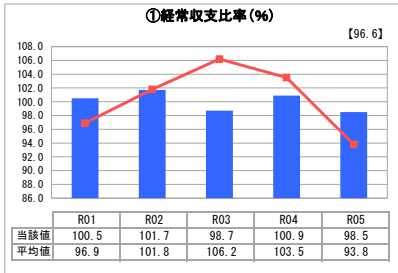
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
175	-	5
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
90	-	270
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
156	-	156

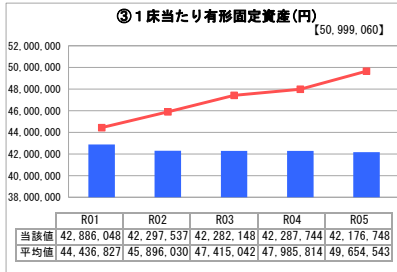
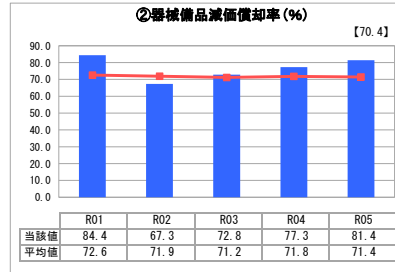
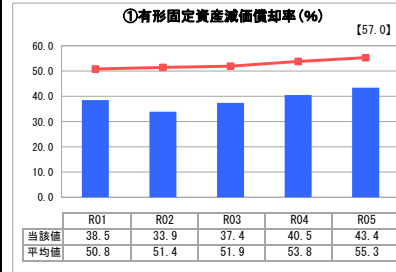
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

細分化・連携強化 (業務の可視化・ネットワーク化を促す)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門に関わる医療を提供している。
- ・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。
- ・県東部地域において、公立では唯一精神病床を持っており、措置入院の受入れをはじめ、精神疾患の拠点としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当病院は精神病床を有していることから、医業収支比率や診療単価は類似病院の平均値より低くなっている。また、令和5年度は医業収益は増加したものの、給与費や材料費の増による医業費用の増、医業外収益の減に伴い、経常収支比率は100%を下回る結果となった。

2. 老朽化の状況について

・平成26年度に改築され、有形固定資産償却率は類似病院平均値より低位であるものの、1床あたり有形固定資産額は平均値より低く抑えられており、今後とも施設設備の適正な管理に努める。

全体総括

- ・令和5年度の病床利用率は、昨年度に引き続きコロナ禍前の令和元年度の利用率までは回復してないものの、類似病院平均値は上回っている。
- ・収益面においては、精神病床を有していることから入院診療単価は類似病院平均値に比して低いものの、増加している。経常収支比率については、医業収益が増加したものの、医業費用の増、医業外収益の減により100%を下回った。
- ・職員給与費対医業収益比率は引き続き高い傾向にある。今後も良質な医療を安定的に提供していけるよう経営改善の努力を継続していく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

高知県 幡多けんみん病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	透し未訓力	救臨が感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
675,623	26,023	-	第2種該当	7：1

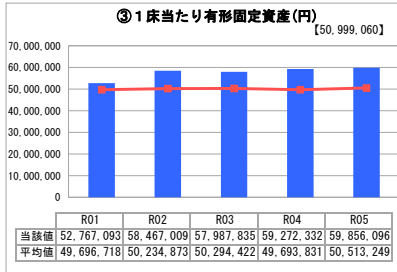
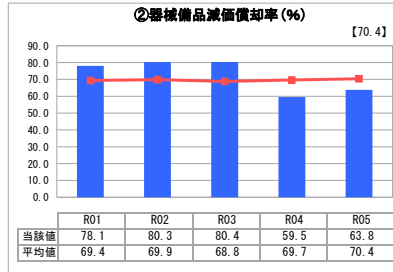
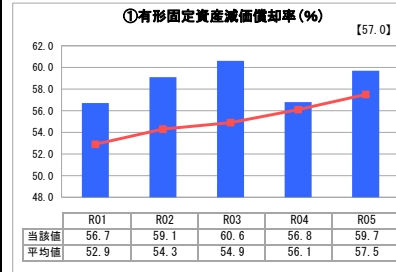
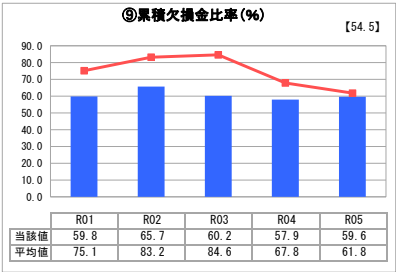
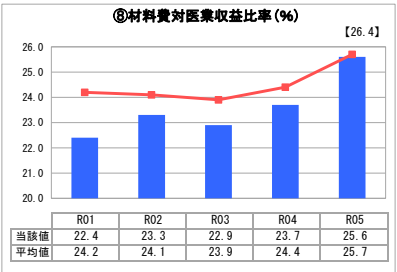
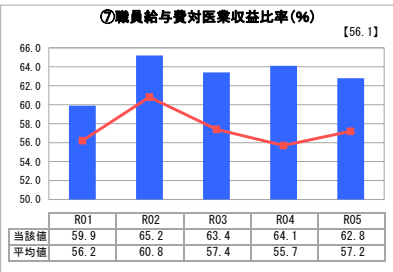
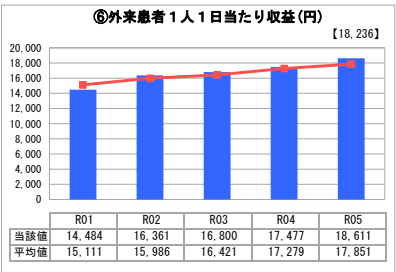
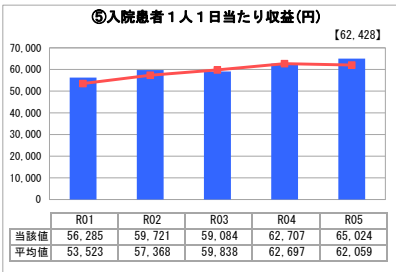
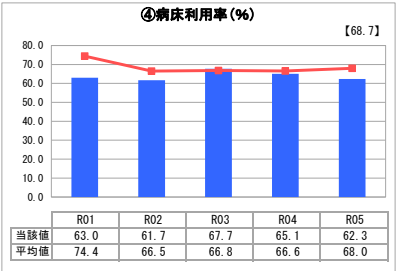
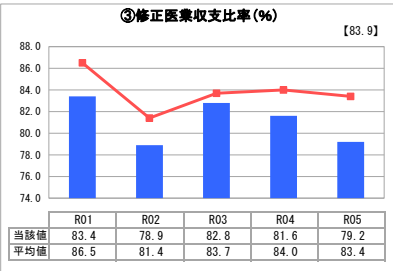
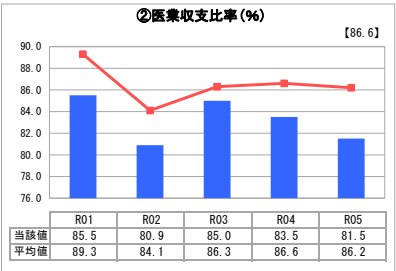
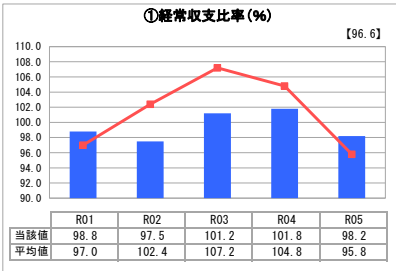
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
291	-	28
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	3	322
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
255	-	255

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

細分化・連携強化 （従来の可搬・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	-
-	年度	-

I 地域において担っている役割

- ・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門における医療を提供している。
- ・特に、県中央地域から遠隔であることから、地域完結型医療を目標に、救急をはじめとする高度急性期医療も担っている。
- ・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、診療単価の増により医業収益は増加したものの、材料費、経費の増などによる医業費用の増、医業外収益の減に伴い、経常収支比率は100%を下回る結果となった。

2. 老朽化の状況について

病院開院から20年以上が経過しており、有形固定資産減価償却率は類似病院平均値より高い状況にある。老朽化が進んでいることを踏まえ、施設の改修・修繕等の適切な維持管理を行い、施設の長寿化に努めていく。

全体総括

・令和5年度の病床利用率は、昨年度に引き続きコロナ禍前の令和元年度の利用率までは回復せず、類似病院平均値も下回っている。

・収益面においては、入院・外来ともに診療単価は類似病院平均値に比して高く、増加している。経常収支比率については、医業収益が増加したものの、医業費用の増、医業外収益の減に伴い100%を下回った。

・病院を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあることから、地域の医療ニーズ等も勘案し、地域を支える中核病院として良質な医療を安定して提供し続けられるよう経営改善の努力を継続する。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。